

## 2021年度情報化関係補助金予算の推進方策の考え方

令和2年5月29日

第28回定時総会

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、学修者本位の教育への転換を基軸に、「分野を越えた学び」、「文理横断的なカリキュラム」、「学修の幅を広げる工夫」、「大学間による教育資源の共有」などに、ICT を利活用した教育の促進が提言されています。

今般、新型コロナウイルス感染症対策として、「遠隔授業の設備及び体制の整備を行い、デジタル技術を活用した高度な教育が提供できる環境の整備」が大きな課題となっていますが、これを機に大学のデジタルトランスフォーメーション化を見据えて、オンライン授業の徹底、ネット討論によるアクティブ・ラーニングの充実、従来の学部・研究科等の組織の枠を越えたサイバー空間での分野横断型教育の推進、「大社接続」による複数の大学・企業連携での複線型キャリア形成などを通じて、物事の本質を見極める意識を持ち行動を目指す問題発見・解決型学修の普及と加速化が急がれます。

このような取組みを積極的に推進していくには、国の責任として高等教育の質向上に向けた情報基盤環境の支援が不可欠であり、補助事業による財政支援が喫緊の課題となっています。

そこで、本協会では ICT による高度な教育環境を可及的速やかに整備するため、本年6月に耐震化率の計画とあわせて教育の質向上に要する施設費、設備費の調査を行い、補助事業に必要な財政支援の規模を把握し、文部科学省に要望することにしております。